

カレッジ通信

智辯学園奈良カレッジ小学部

令和3年度 9月号

令和3年9月15日 発行



8月24日、児童たちは満面の笑みと元気な挨拶で登校してきました。
今年、新型コロナウイルス感染症への対応と熱中症予防への配慮が求められる夏でした。また、異常気象による大雨が災害を発生させ、日本各地から悲しいニュースも届きました。そのような中、今年の夏休みを児童たちはどう過ごしたのでしょうか。心安らかで、楽しく有意義な夏休みであったのなら嬉しく思います。
さて、開催も危ぶまれた東京オリンピックですが、日本人選手が大活躍でした。また、多様性と共生社会の実現を掲げるパラリンピックでも熱戦が繰り広げられ、日本人選手の活躍が光りました。

新しい競技も多かった今回のオリンピックですが、中でもスケートボードでは随分若い日本人選手の頑張りに驚かされました。そして、競技の順位に関わらず、素晴らしい演技をした選手に大きな拍手を送り褒め称えるという姿に感動を覚えました。単に、勝ち負けという結果にこだわるのではなく、個人の頑張りが優れた技量に拍手を送るというのは素晴らしいことだと思います。

人に勝ちたいというのは当たり前の気持ちです。しかし、同じ志を持った者同士が、全力で競技に取り組み、素晴らしいパフォーマンスをした他人を互いに褒め称えることができるのは、自分もまたその競技に懸命に取り組んでいて、それをやることの難しさを知っているからこそできるのだと思うのです。

ですから、児童たちには、何に対しても一生懸命に励み、自分以外の人でも素晴らしい出来栄であれば、心から拍手を送れる人になって欲しいと思います。他者をリスペクトする心の持ち主に、そして、自分自身も高みを目指して頑張れる人になってほしいと願います。

2学期は一番長い学期です。児童一人ひとりが目標を持って仲間と切磋琢磨し、クラス、学年、学校として一つにまとまり、大きな成長を遂げる期間にしてもらえようしっかり教育に励みたいと考えています。

9～10月の学校行事

月	日	曜	行 事	月	日	曜	行 事
9月	16	木		10月	1	金	冬服着用（合服可）
	17	金			2	土	
	18	土			3	日	運動会
	19	日			4	月	振替休日
	20	月	敬老の日		5	火	
	21	火			6	水	
	22	水	入試準備（4限授業）		7	木	入学手続き（第1回）
	23	木	秋分の日		8	金	
	24	金	一次入試（児童家庭学習日）		9	土	
	25	土	小5対象中学部説明会		10	日	
9月	26	日		10月	11	月	感謝祭
	27	月			12	火	
	28	火	運動会予行練習		13	水	
	29	水	感謝祭		14	木	
	30	木			15	金	

8月午前中授業での取り組み

8月の午前中授業期間で、学年ごとに様々な活動に取り組みました。普段の授業以上に体験的で楽しい活動をたくさん行い、児童たちは充実感に溢れていました。

1、2年生 水鉄砲 シャボン玉

生活の時間に作った水てっぼうとシャボン玉で遊びました。たくさんの笑顔が見られました。



3年生 ペットボトルロケット キックベース大会

ペットボトルロケット飛ばしとキックベース大会を行いました。どちらも仲間と協力しながら楽しく取り組みました。



4年生 民鉄新聞づくり 鳥よけづくり

夏休みに鉄道について調べたものを新聞にまとめました。また、鳥よけを作って、田んぼに取り付けました。独創的な鳥よけがたくさんできました。



5年生 プログラミング体験

タブレットとレゴを使ってプログラミング体験をしました。慣れた手つきでレゴを組み立て、中にはロボットの形やプログラムに少し工夫を加えていた児童もいました。



6年生 ジャガイモ植え

畑の草ぬき、ならしから植えるところまで全て自分達で行いました。地中深くから芽が出てくるのが楽しみです。



令和3年度 運動会について

今年度の運動会も、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、規模を縮小して実施します。児童たちはコロナ禍においても、精一杯練習や準備に取り組んでいます。保護者の皆様にもご理解とご協力をいただき、児童たちの練習の成果が発揮できる場にしたいと考えております。

運動会のスローガン

『一致団結 ～心の絆でコロナに負けるな～』

みんなの心を一致団結して学年を越えて絆を深めたい、コロナ禍ではあるが、みんなで協力して感染対策を行い、安全・安心な運動会にしたいという願いを込めて、スローガンを決めました。

<団長・副団長紹介と団長の意気込み>



赤 組

団 長	6-2	廣岡	蒼大
副団長	6-1	原	悠太
	5-1	柴田	凜

今年の赤組は、運動会を楽しみながら優勝を目指して戦います。団長として細かいところまで目を配り、一致団結して勝利を勝ち取るために精一杯頑張ります。



青 組

団 長	6-1	小西	幸喜
副団長	6-2	上森	慧人
	5-1	小倉	亜彩日

全ての競技で全力を尽くし、みんなが笑って終われるように青組団長として頑張りたいです。今までで一番楽しかったと言うことができるような、みんなの思い出に残る最高の運動会にするぞ！



黄 組

団 長	6-1	石原	こころ
副団長	6-2	黒瀬	日奈子
	5-1	亀多	時成

黄組の目標はもちろん優勝ですが、何よりみんなが団結し、楽しめる運動会にしたいです。競技や応援に全力で取り組み、黄組のみんなが納得のいく運動会になるように団長として頑張ります。



緑 組

団 長	6-1	岡野	高頭
副団長	6-2	宮本	晃芽
	5-2	徳原	彩旬

僕は緑組を「勝ち」にこだわるチームにしたいです。どの競技も勝つためにはどうすればいいのかみんなで考え、協力し、『勝負に強い』緑組にします。そして絶対に優勝します！



<学年種目紹介>

1年「みんなでころがせ元気玉」

2人1組で大玉を転がし、ゴールを目指します。途中の障害物を上手によけて転がそう。

2年「ちべんジャーズ」

一番になるかは運次第！？たくさんの障害を越えて最後まで走り抜けます。

3年「イツツ・ア・スモールワールド」

3年生のみんなが小さな世界に迷い込んでしまいました。そんな小さな世界での運動会。大きなバトンをかついて、一生懸命走ります。

4年「波乗り☆ヒーロー」

2本の棒にボールを乗せてサーフィンをするように波を越えます。4年生に迫る大波小波！協力してゴールを目指そう。

5年「Carry&Go!」

サイコロを振って出た目の数だけ荷物を運びます。実力だけではなく、運も試されます。果たしてゴールまで無事に荷物を運べるのでしょうか。

6年「みんなでジャンプ」

各色7人ずつで大縄跳びに挑戦します。1分間×2回の計2分間で跳べた合計回数を競います。心をひとつに。



1 日子ども知事

「1日こども知事」は、こどもたちに奈良への愛着を深めてもらうことを目的として、奈良県内在学の小学5・6年生の応募者から10人が選ばれて知事の仕事を体験する催して、奈良県が毎年実施しています。

今年も本校児童が応募し、6年2組足立玲奈さん、5年2組原田実子さん、5年2組前田桃歌さんが選ばれました。今年は、コロナウイルスの感染拡大防止のため、残念ながら知事の体験は実施されませんでしたが、今回掲載の了承を得られた2名の作文を掲載します。

「知事になったらこうしたい」

5年2組15番 原田実子

私が知事になったら、奈良県の学校を変えたいと思っています。

私は、小さいころ1ヶ月間ポーランドに行きました。そこで、子供たちが、小学生のときから学校の勉強の他に、自分のやりたい事や好きな事を自分で選んで専門に学べるということを知ってとても驚きました。日本の教育では、全ての人が同じことを学びます。他にやりたい事があれば、習い事として通わないといけません。

私の姉は、小さいころからピアノが大好きで、将来ピアニストを目指しています。今は、高校の音楽科に入るために。学校とは別に大学の先生にピアノを習い、さらに歌や音楽の知識も違う先生に習っています。だから、中学校から帰ってきても勉強と練習、そして夜遅くまで京都でレッスンを受けています。時間が足りなくて、毎日本当に大変そうです。

そこで、私はポーランドのように学校で勉強することと、専門に好きな分野も学べる「夢がかなう小・中学校」を作りたいです。

自分が将来なりたいものについて小学校から専門的に授業として学べるようにしたいです。私は製薬開発者になりたいと思っています。そのために必要な知識を、普通の授業と並行して学びたいです。友達にも、すでに将来なりたい職業が決まっている子もいます。早い段階から学ぶ機会は、私たちの学習意欲や将来の見通しにも役立つと思います。

講師は、たくさん必要になると思います。できればボランティアで専門職に携わっていた人に来てもらいたいです。お礼は、できれば奈良の特産品を使って地産地消したいです。

みんなが自分の好きな本当にやりたいことに早くからチャレンジできる小・中学校を作れば、毎日がもっともっと楽しくなると思います。やる気も出て勉強も頑張れると思います。

私は奈良県知事になったら、みんなの夢をかなえるお手伝いがしたいです。

「知事になったらこうしたい」

5年2組17番 前田桃歌

私が知事になったら、奈良の特産品である柿の葉寿司を全国的に知ってもらうために、「柿の葉寿司パーク」を作りたいです。

「柿の葉寿司パーク」は、柿の葉寿司作りができる場所です。参加者が好きな具材を使って、柿の葉寿司を作ることができます。柿の葉寿司作りを教える講師は奈良県民で、年齢を問わずできるようにしたいです。柿の葉寿司の作り方を教えながら、奈良の良いところや観光スポットを宣伝することでもできるからです。

作った柿の葉寿司は、法隆寺など奈良の有名な寺社や、絶景スポット、あるいはホテルなどで食べられるプランも用意したいです。また、観光会社と協力して、奈良観光の中に組み入れてもらい、積極的に広めていきたいです。

いろいろな柿の葉寿司を作ってみるにより、新しい人気柿の葉寿司ができる可能性もあります。柿の葉寿司パークを奈良県の活性化の第一歩にしたいです。